

近況報告

第69回東京双松会総会に出演します

松江北高2020年卒 72期 徳安 諒



東京双松会の皆様、初めまして。2020年(第72期)卒業生の徳安諒と申します。現在、国立音楽大学音楽学部演奏・創作学科声楽専修4年次に在籍しております。大学では、オペラや歌曲を勉強し日々研鑽を積んでいるところです。今回は東京双松会という歴史ある会にて歌わせていただくという機会をいただき嬉しく思います。

私が大学に入学したのは今から約4年前の2021年4月でした。当時は新型コロナウイルスが流行し“stay home”という言葉は当たり前、不要不急の外出の制限、入学式などもライブ配信などとにかく人との関わりが制限される状況にありました。

その中で、もちろん音楽も例外ではありませんでした。合唱はコロナ禍で必要とされるものではないと制限され、歌もマスクを着用しての歌唱やパーテーションの設置、ライブ配信など新しい形が模索されました。

その中で音楽を続けるということがいかに難しいかということや人との関わりを持つことがいかに大切かを実感する期間になりました。

今回は二曲、ドニゼッティ作曲のオペラ『愛の妙薬』より「人知れぬ涙」と、村松崇継作曲の「いのちの歌」を歌わせていただきます。どちらも一度は耳にしたことのある曲かと思います。精一杯演奏させていただきますので、ぜひ東京双松会第69回総会に足をお運びいただけたらと思います。

今後も人との繋がりや、ご縁というものを大切にしながら歌っていけたらと思っておりますので引き続きご支援賜りますよう、重ねてよろしくお願いたします。